

2018年7月19日

各位

株式会社北洋銀行



基幹系システム共同化に関する基本合意について

北洋銀行は、千葉銀行、第四銀行、中国銀行(以下、総称して幹事行という)および、日本アイ・ビー・エム(以下、IBM という)と基幹系システム共同化^{※1}を実施することに合意いたしましたので、お知らせします。

記

1. 説明

- (1)これまで、当行では、中長期的な基幹系システムのあり方について多面的な検討を行い、昨年より基幹系システム共同化への参加に向けた本格的な検討を進めてまいりました。
- (2)このたび、「長期安定稼働に資するシステムの構築」、「ITコストの抑制」、「FinTech への取組み、商品開発・サービス提供のスピードアップ」などの観点から、基幹系システム共同化への参加を決定いたしました。
- (3)当行は基幹系システム共同化に加え、「TSUBASAアライアンス」^{※2}を活用し、FinTechに関する調査・研究など、さまざまな分野で連携の幅を広げ、さらなる企業価値向上を図ってまいります。

2. 概要

(1) 共同化の業務範囲

預金、為替、融資などの業務処理機能、各種 ATM、インターネットバンキングおよび、外部センターとの接続機能などを共同化します。

(2) 開始時期

2022年度を予定しております。

※1 幹事行および、IBM が共同で開発した基幹系システムを利用し、各種機能の開発や運用・保守を共同で行うことをいいます。

※2 千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北越銀行および、当行の7行が参加する地銀広域連携の枠組みをいいます。

以上